

「いぬみち、わっせた」

とくしまけん なかぐん
徳島県那賀郡のお話 はなし

おかし、おかし。

うま うし いぬ ねこ にわとり なか
馬と牛と犬と猫と鶏が、仲よう暮らしております。
はる ごひき はなみ い
春がきたので五匹は花見に行きました。

はな うつく
花があんまり美しいので、つい見とれているうちに、
ひ ひ
日がとつぷりと暮れてしまいました。

おも
馬がこれはこまったこっちゃと思つて、

「ひひひん、もう日がくれた」

い
と言いました。

そしたら牛が、

「んもう、いなんか（帰ろう）」

と言いました。

そしたら犬が、

「いぬ（帰るといふ意味）みち、わっせた（わすれたといふ意味）」
と言いました。

そしたら猫が、

「にやんでもないこといな」

と言いました。

そしたら鶏が、

「こっから、こっ、いなんか」

と言うて、五匹とも仲よう帰ってきましたとさ。

注・赤字のカッコ内の文は、声に出して読みません。

『阿波の民話』

未来社
1959年より